

「立ち向かうべき大きな政策テーマ」に対するパブリックコメントの結果について

平成22年3月10日  
県政推進課

県では平成23年度の予算編成において、「政策主導型予算編成システム」を導入し、政策主導の一環として政策戦略会議（知事・副知事・部局長で構成）で議論を行いました。現場とかけ離れた政策立案とならないよう県民の皆さまのアイデアを取り入れることを目的に、パブリックコメントを実施しました。

いただいた御意見は、平成22年12月15日に開催した「第3回政策戦略会議」で「立ち向かうべき大きな政策課題・方向性」に基づく政策戦略事業の検討の参考としました。また、いただいた御意見を踏まえながら各部局において政策戦略事業の予算要求が行われました。

パブリックコメントの実施

(1) パブリックコメントの概要

ア 期間：平成22年11月5日から11月29日  
イ 回答：24件(17人)  
ウ 内容

県が新たに又は重点的に取り組むべき政策テーマあるいは具体的な事業・取組についての意見募集を実施。

エ 募集方法：

県庁県民課、各総合事務所県民局、県立図書館、市町村役場の窓口に「募集チラシを配置。」  
鳥取県ホームページ「とりネット」の県政推進課のホームページに意見募集のページを掲載

オ その他：日本海新聞紙上に意見募集広告を掲載（掲載日11月14日（日））

(2) パブリックコメントで寄せられた主な意見と対応状況

対応状況	件数	意見
政策戦略事業策定に反映した（一部のみ反映したものを含む）	4	他県を圧倒するレベルでの企業誘致策、他県に勝る「明確」なメリットが必要。 東部地区県民に湖山池の水門開放の是非を問うてください。 県内企業を紹介するときいつも同じような企業、あるいは商品の紹介になっていると思う。優れた商品や技術を持つ企業がまだまだあると思うので、県職員の方々はどんどん現場に足を運んでそういった企業を発掘、紹介してほしい。 『環境・観光・地域活性化』について、都会にはない『自然』溢れる美しい県『鳥取県』『山陰』を県外にアピールしてはどうか。
既に一般事業に盛り込んでいる	2	教育・人づくりという考えを若者に限らず、中高年にまで広げ、定年になっても働ける環境整備をする。生涯学習について、企業の人づくりを促進させる。 町の教育委員会主催か県主催で、40代、50代以上を主体とした婚活イベントをしてはどうか。
今後の検討課題とする	4	中間部に総合的な医療施設を造り、先進医療県を目指す。ゆったりと老後を満喫できる環境や設備を提供し、胸を張って威張れる全国一の老人県を目指してみる。 兵庫北部の人々や、兵庫北部を訪れる人に鳥取空港を利用しやすいよう環境を整え、売り込む。
対応困難	3	ジュニアから成年期につながる一貫指導体制の構築をすることで、オリンピックや国体を始めとする各種全国大会等で活躍できる選手を多く輩出し、競技力向上につなげる。 子育ての経済的、精神的な負担感を軽減が必要。県に子育て支援センターを設置し、子育て支援をワンストップサービスで対応させる。
その他（個別の要望、施策体系外の意見）	11	子育て王国鳥取県の建国に向けて、子育て王国ととりプランとの整合性を図るべき。 環境大学にスポーツ学科を新設し、優秀な選手を育成する。 「地方主権への対応」とテーマにおいて、「県下3市への統合と権限委譲」といった課題を設定するべきです。
計	24	

すべての意見及び対応結果につきましては別添資料をご参照ください。